

共産党市議団が JR西日本と交渉

矢萩・新踏切の拡幅、線路下の水路拡幅など安全対策で……。 「市の計画と協議する」と回答



1月23日 JR西日本京都支社と懇談

1月23日、JR京都支社に共産党湖南地区議員団として、要望に行きました。

野洲市からは3市議が参加し、新踏切、矢萩踏切の写真を示し、拡幅を求め、野洲駅前の浸水状況の写真を示し、JRの線路下を通っている雨水排水の拡幅を求めました。

「新踏切は、拡幅や立体交差の可能性

があるなら、市の計画を協議する」「矢萩踏切は斜めの踏み切りの為、拡幅は困難。立体交差は協議する」「JR線路下の雨水幹線の拡幅は、市からの計画があれば、協議する」との答弁でした。今後市の対応が注目されます。



矢萩踏切



台風18号での駅前の浸水

71項目の要望で市長と懇談

1月22日、共産党野洲市議団が出した71項目の予算要望の回答に対して、再度検討を求める懇談をしました。

太田議員から

①国保の資格証明証の発行は、これまで市に分納などの相談が無い人には、一律に発行し、県下でも高い発行率でした。昨年社保協の懇談の時、市長が改善をすると言っていたが、この予算要望の回答ではどうするのかわからないと尋ねたところ、「一人ひとりの状況を聞き、対応するということで、改善をはかる」ということでした。

②コミュニティーバスの運行の改善を、市立病院を建設するのに合わせて拡充をする必要があるのではないかとこのことを話したところ、「3路線ぐらい増やしてできるだけ病院、駅に直行できるようにしたい。クリーンセンターに、お風呂なども作るの、その便も必要になり、充実をしなければならぬ。」と話されました。

東郷議員から

「湖南幹線道路を早く実現できるように」と要望。市長は「県は取り付け道路から野洲市内には4車線を当面2車線で実施すると言うが、当初から4車線で実施して欲しい。道路の詳細設計、用地取得に向けた交渉を進め、県との協議を強めたい」とのことでした。

野並議員から

①床下浸水の消毒を、消毒液を自治会に配布するとの回答だが、現在はフローリングの家庭が多く、これでは消毒はできない。機器の購入か業者委託しかないと思うと話した。



1月22日市長と懇談

市長は、「床下・床上という基準もおかしい。きちっと消毒ができるように検討する」と回答。

②自然エネルギーでは電力が賄えない。エネルギーの転換を政府にいうことは考えていないと言うことだが、地熱は世界で3番目にエネルギーがあり、もっと活用を図るべき。風力も周りは全部海であり、ドイツのようにもっと活用を図るべき。原発の再稼働ありきで進んでいる国の在り方に対して、意見を言うべきと発言。市長は「国は原発ありきで進んでいる。だから実用化の検討をほめていることが問題。野洲市では3企業がメガソーラーを上げており、広がっている」と言われていました。

今後引き続き要望の実現を求めています。

71項目の要望と回答は市議団ホームページの「政策 & 見解」に掲載しています。ご覧ください。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2014年1月31日 No.270

暮らしのご相談を
お寄せください

野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX)587-0985
太田健一 近江富士2-11-25 (電話・FAX)588-3169
東郷正明 比江864 (電話・FAX)589-4158

市議団ホームページ
野洲市議団で検索を